

事務事業名 情報教育システム広域化事業

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	9	
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	教育情報センター機能を室蘭市に移転・集約し、システムの管理及び運用についての共同化を「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として事業化することにより、運用・更新経費の縮減やセキュリティの強化及びシステム運用の効率化・安定化を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	本市の教育情報センター機能を室蘭市に移転・集約し、その後のシステム管理及び運用を「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として、室蘭市、壮瞥町とともに共同実施する。 【事業実績】 ・WEB、メール、プロキシ、ファイル等のサーバを統合し、2市1町が共同利用。 (各サーバのデータ移行、各小中学校の教員用PC・児童生徒用PCの設定変更、各学校における環境テスト他) ・登別市の旧サーバは廃止し、統合後のサーバの管理及び運用は室蘭市が行う。 ・室蘭市にヘルプデスクを開設し、専任の嘱託員が各小中学校からの照会や不具合対応などにあたる。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	当該事業の継続により、運用・更新経費の縮減やセキュリティの強化及びシステム運用の効率化・安定化を図る。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区 分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		6,315	9,190	6,670	6,667
事業費 合計			0	6,315	9,190	6,670	6,667

指標の推移

《Check》

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	システムの稼働実績	日	目標値		365	365	365	365
			実績値		365			
	システムダウンの回数	回	目標値		0			
			実績値		0			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
サーバの老朽化の進行により、高確率でハードウェアに障害が発生する可能性があり、システムダウンによる機能停止が懸念されていた。	更新が必要となる各サーバを室蘭市に統合し、システムの管理及び運用についての共同化を「定住自立圏形成協定に基づく連携事業」として事業化することにより、運用・更新に伴う経費の縮減や、セキュリティの強化及びシステム運用の効率化・安定化が図られる。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 システムの管理・運用に係る共同化については、西いぶり広域連合による共同電算事業において既に実績があり、参加市町が相互にメリットが得られることから、広域連携事業として妥当性の高い事業である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 事業実施により得られるメリットが大きく、定住自立圏形成協定に基づく連携事業として、必要性の高い事業である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 更新等経費の縮減によりコストメリットが得られるとともに、管理運用面での効率化とセキュリティの強化も図られ、費用対効果の大きい事業である。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 教員用PCの権限が管理者からユーザへと変更されたことにより、セキュリティ面において大幅な改善が図られた。また、サーバ統合によりシステムの安定稼働が図られ稼働実績が向上した。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	事業実施によるメリットが大きく、定住自立圏形成協定に基づく連携事業として、必要性の高い事業である。また、管理運用面での効率化とセキュリティの強化も図られ、費用対効果の大きい事業である。
-----------	----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----